

## 審査結果報告書

平成28年 / 月 14日

主査 氏名 岡本浩嗣 (岡本)

副査 氏名 阿古 理嗣哉 (阿古)

副査 氏名 三枝 信 (三枝)

副査 氏名 佐々木 治一郎 (印)

1. 申請者氏名 : 入澤 友輔

2. 論文テーマ : Re-expansion pulmonary oedema after minimally invasive cardiac surgery with right mini-thoracotomy  
(右小開胸による低侵襲心臓手術後の再膨張性肺水腫)

3. 論文審査結果 :

申請者は低侵襲心臓手術 (MICS) の1つとして、右小開胸による手技の後に引き起こされる再膨張性肺水腫 (RPO) の成因や頻度について明らかにするため本研究を施行した。方法として診療録からの後ろ向き研究で 381 例を抽出した。結果として、RPO の発生率は 2.1%であり、発生した場合の死亡率は 12.5%であった。RPO 群において、手術時間、人工心肺時間、大動脈遮断時間、免疫抑制剤の内服が発生要因として関わっている可能性が示唆された。従来まで MICS 時の RPO についてはほとんど認識されていなかったため、RPO の発生頻度や危険因子を見いだした申請者らの研究結果は臨床的にも大変有用である。このように、申請者らの研究は、大変意義のある優れたものであり、以上をまとめた本論文は独創性や学術性が非常に高く学位論文に相応しいものである。加えて発表や質疑の応答も的確であったため本論文を学位論文とする審査結果は合格と判断した。